

医療工学技術者創成のための再教育システム (REDEEM)

東北大学大学院
工学研究科
バイオロボティクス専攻
山口隆美 (やまぐち・たかみ)

医療工学技術者の教育はなぜ、今、必要なのか

医工連携は時代のキーワードです。人を幸せにするハイテクが実現するかどうか、医学と工学の融合は超高齢化社会を迎える今が待ったなしの瀬戸際です。しかし、医師と工学技術者が名前を連ねれば医工連携プロジェクトではありません。何よりも、話が通じないのです。同じ筈のものを見ても、違うものに見えるのです。

REDEEM プロジェクトの背景

東北大学は長年医工連携の研究・教育を行って来ましたが、それでも、医学と工

学がお互いを理解することは極めて困難でした。そこで、昨年からは、とくに、工学分野の中堅・第1線の技術者を対象とする医工連携の実感的・系統的な教育法の研究が始まりました。その結果は、医療工学人材育成のためのスキルスタンダード、スキルマップ、カリキュラムにまとめられました。

REDEEM プロジェクトの意義。

これをもとに、今年から科学技術振興調整費の援助を受けて教育を始めます。このプログラムでは、東北大医学部と工学部の第1線の教授・助教授が基礎および臨床医学、医工学、そして社会医学の基本的考え方をわかりやすく講義します。つぎに実感をもって医学・生物学を体験する実験・実習を受けます。そして、e-Learning で知識と経験を確実にします(図を参照)。この課程を修了すれば、技術者にとって不可解であった医師・医学者の考え方の基本が実感として分かるようになります。

今後の発展

今年度は3月第2週(講義)と第4週(実習)に先導的試行を実施します。来年度からは、年間2-3回の集中講義(仙台で開講)と月1回の出張講義(東京で原則第1土曜日に開催)そして、やはり年2-3回の1週間分の実験・実習を実施します。この講義の過程は記録し、インターネットでアクセスできるe-Learningの教材とします。

講座受講希望者に向けたメッセージ

新しい技術・産業分野となることが確実な医工連携に参入する障壁に悩んでいる技術者に受講を勧めます。手を動かして医学・生物学の考え方を学ぶことができるユニークな教育システムです。申込みはホームページの応募要項(申込み書)をご覧ください。

URL <http://www.redeem.jp>

医療工学技術者創成のための再教育システム

カリキュラム概要

